

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-5-5	事務事業名 交通計画策定事務	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 快適な市民生活、居住環境を実現するため、市内の交通問題の解決に向けて、市民・事業者・行政が一体となって目標を定め具体的な取組、方向を示す。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)道路・交通の整備(安1-2) (主要施策)総合的な交通体系の整備
	実施内容、実施方法 平成15年度:関連データ集計、分析 平成16年度:交通実態調査、市民及び事業者等アンケートの実施、交通計画の基本的考え方としての理念と目標、方針を検討 平成17年度:市民懇談会(意見交換)の開催(4回) 平成18年度:策定委員会を開催し、交通計画を策定	根拠法令等
	事業開始時期 平成 15 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 市民アンケート回答数	活動指標の考え方(定義) 市民意識を調査するためアンケートを実施(平成16年度)
	成果指標名 進捗率	成果指標の考え方(定義) 全体事業費(全体事業費:15,560千円)と比較した事業費ベースの進捗率

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	294	7,665	100	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源			294	7,665	100	
	所要人員(B)	人	0	0.01	0.50	0.50	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	83	4,164	4,164	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	377	11,829	4,264	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(アンケート回答数)	千円	0		6.18		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	回答数			5,000	
		実績値	回答数			1,914	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	%		1	51		
	実績値	%		1	51		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	交通政策に関して、安全で快適な自転車・歩行者空間の整備、交通事故を少なくするため対策、排ガスや騒音の提言など環境に易しい対策等が求められている。
	国・都・他市・民間等における類似事業	武蔵野市、多摩市で策定済みである。
	運営上の制約条件・外部要因等	本計画は、他計画との整合性が大変重要であることから策定年度を平成18年度にスライドしている。

コード 8-5-5	事務事業名 交通計画策定事務	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	-------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	アンケート調査の回収率は、一般的には30%であると言われているが約40%の回収率であったことからこの計画策定について市民意識が高いことが伺える。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	交通安全を推進する上で基準となる本計画は、必要であると考えます。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	本計画を策定するのにコンサルタント委託を導入しているが、委託業者の決定は入札制度で決定し、経費の削減を図っている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市民に市報・ホームページを通して周知している。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	計画どおりの進捗である。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	関連する他の計画との整合性に配慮し、平成18年度中に策定する必要がある。
--------	---	--------------------------------------

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。